

N-3:ネットワーキングセッション

開催日時・会場 9月15日(水曜日) 13:50-15:20 小会議室303(3階)

URA-100人論文 参加者募集(課題登録は9月8日17:00迄)

年次大会ネットワーキングセッションとして「URA-100人論文」を実施します。URA間の交流促進を主な目的とし、オンラインコミュニケーションツールやマッチング手法のノウハウ共有および手法の向上模索も図ります(所属組織の研究者マッチングではありません)。

“100人論文”は、「①参加者が3つのお題に答える。②お題の答えを匿名で掲示する。③掲示に対して匿名でコメントする。④コメントのやりとりを経て、話を深めたい場合は連絡先を交換する。」というものです。「URA-100人論文」メイン会場はオンラインです。

参加希望の場合は9月8日17:00までに[こちら](#)から。

一部は現地会場でも掲示をしますので、こちらも体験しに来てください。また、当日はオンライン中継も予定しています。

組織や役職の垣根を越えたコミュニケーションから新しい刺激を得てみましょう。

ファシリテーター(メイン)

津村 明子:横浜国立大学・研究推進機構・
特任教員(准教授)

NO
PHOTO
AVAILABLE

博士号(薬学)取得後、生命科学分野の研究者として研究に従事。2012年より大阪大学 大型教育研究プロジェクト支援室/免疫学フロンティア研究センターにて研究支援の仕事に携わる。2017年に横浜国立大学 研究推進機構に着任、2020年より現職。研究広報を主に担当するほか、研究者マッチングイベント企画、外部資金獲得支援等の研究推進活動に関与。

ファシリテーター

新道 真代:筑波大学・URA研究戦略推進室・チーフ



筑波大学、東京大学を経て、総合研究大学大学院にて博士号(理学)を取得。専門は発生生物学。ポスドク、経営コンサル、VC、バイオベンチャーで勤務を経て現職。ブランディング、マーケティング、出版、webシステム開発、動画制作、各種イベントの企画・実施に携わる間に起業～廃業まで経験する。良縁向上・労力軽減形へ進化中の筑波大100人論文の2021年度は茨城大・北陸先端大・筑波大での開催を計画
中!

ファシリテーター ※つづき



館 正一: 関西大学・大学本部URA・
上級リサーチ・コーディネーター

学生時代にデザイン会社を起業。その後、大手広告代理店にて広報・広告の企画に従事。2016年より関西大学学長室リサーチ・コーディネーター（イベント・コーディネーター/サイエンス・コミュニケーター）着任。文科省私立大学ブランディング事業においてブランディングの戦略立案、ディレクションに携わる。研究広報という視点で大学広報、研究戦略の業務全般に従事。

NO
PHOTO
AVAILABLE

間宮 るい: 茨城大学・研究・産学官連携機構・URA

筑波大学にて博士号（理学）取得、東京大学でポスドクを経験後、専業主婦業務、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構で研究支援に携わり、現職にめぐり合う。研究支援から産学連携、企画立案まで多様な業務に携わる。



高瀬 久美子: 筑波大学・数理物質エリア支援室・URA

筑波大学の教育研究科で社会科教育学を専攻し、終了後は中学校と高等学校で教員として勤務した。その後転職し、バイオ系の研究機関でテクニシャンとして麹菌のゲノム解析、さらに公益法人で食品分野における技術開発、商品開発支援に携わってきた。KEKで研究支援職に就いた後、2018年より現職。現在はTIA中核6機関内、およびつくば地域の研究機関との連携の構築、さらには産学連携に向けた活動を支援している。



長谷川 佐知子: 新潟大学・研究企画室（経営戦略本部学長室
兼務）・主任URA

住友商事で10年間、有機化学品貿易の営業アシスタントを務める。退職後は、英国留学や本田技研工業での海外販売事業を経験。結婚を機に新潟に転居し、2009年より新潟大学で産学官連携戦略展開事業に従事。2012年よりURAとして、外部資金獲得支援のほかU-goプログラムの企画運営などを担当。2018年より経営戦略本部学長室兼務。

NO
PHOTO
AVAILABLE

永井 明彦: 北陸先端科学技術大学院大学・産学官連携本部
産学官連携推進センター・特任教授

名古屋工業大学大学院で博士（学術）を取得しています。2021年3月まで筑波大学国際産学連携本部の技術移転マネージャーを務め、産学連携、特に共同研究に取り組んでいます。同年6月より北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）産学官連携推進センターの特任教授に着任しています。また、民間企業で新規事業創出のマネジメントをしていました。